

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第15週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和5年 第15週分 4月11日～4月17日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 498例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

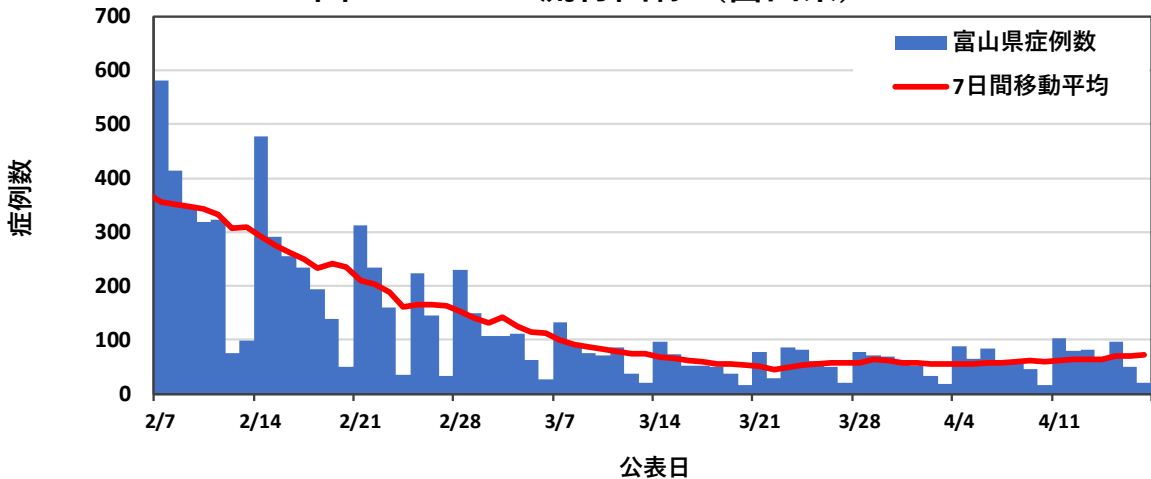
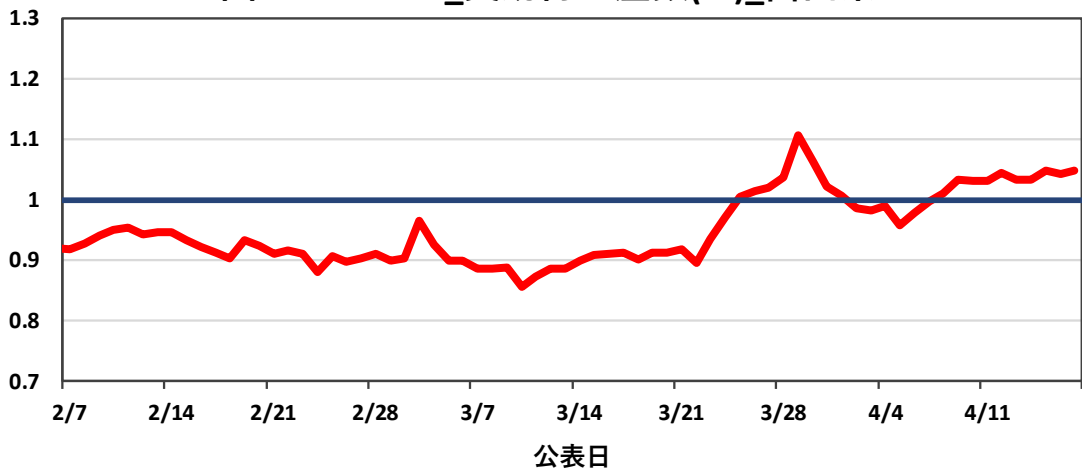


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、15週）

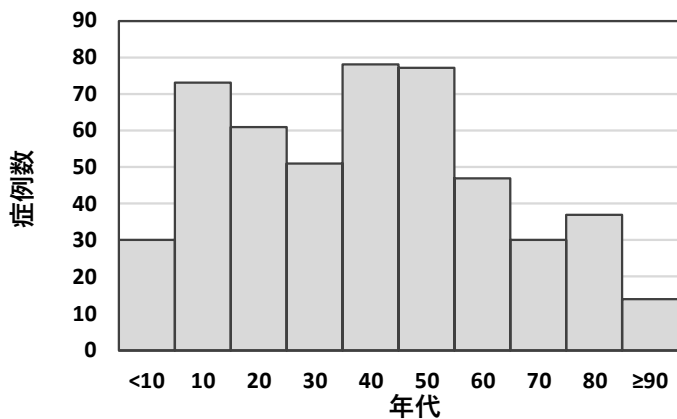


図4. COVID-19年代別割合（富山県、15週）

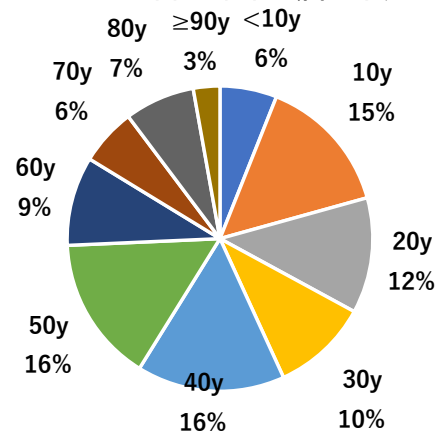


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

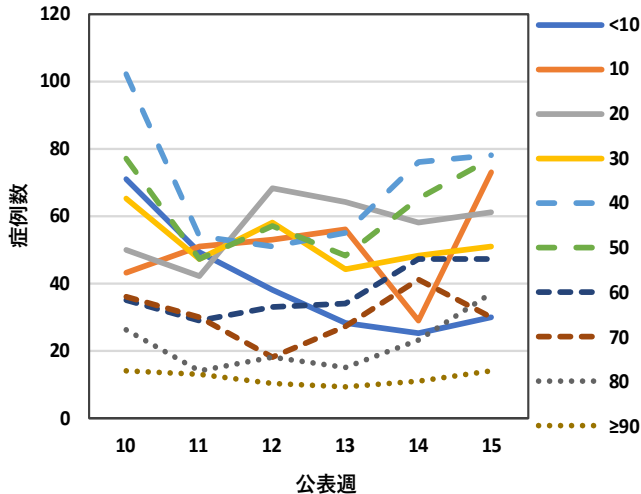
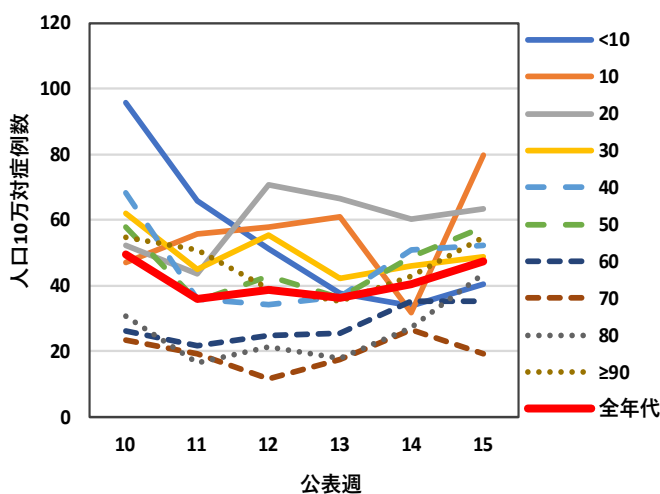


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



4月17日時点での所見と評価

- 第15週の新規報告数は、498例。第13週380例、第14週423例であり、増加傾向が続いた（図1）。
- 実効再生産数（図2）は、今週1.03~1.05で推移し、4/17時点で1.05。
- 第15週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。症例数は40歳代（16%）、50歳代（16%）、10歳代（15%）、20歳代（12%）の順で多く報告された。60歳以上の割合は25%であった。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。10歳代（オレンジ）は先週一時減少したが、今週に入り急増した。その要因として学校の新学期開始に伴う影響が推察される。また、50歳代（緑破線）、80歳代（灰色点線）も増加が続いた。
- 第15週も先週に引き続き、全体的に軽度な増加が認められることから、今後の感染動向に注意が必要である。